

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	理科【地学基礎】	2年	2単位	教科書	地学基礎（実教出版）	副教材等	ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版）	履修対象・ 使用教室等	2学年アクティブ
教科・ 科目の 目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、(A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況)とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評価」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	ミニテスト	15～20回（内容のまとまりごとに実施）			20	-	-		
	単元テスト	5回（単元ごとに実施）			50	50	-		
	課題	8回（ビジュアルプラスノートまたは配布プリントの取り組み状況）			-	-	30		
	実験レポート	4回（実験・実習に組み込み、実験レポートを提出）			30	50	20		
	リフレクションシート	5回（単元ごとに振り返りを記入）			-	-	50		
	（観点別配分％）	（3観点の比重を％で示しています）							
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け(○●)	
4 5 6	【1章 地球の構成と運動】 1節 地球の構造 2節 プレートの運動 3節 地震と火山	18	<ul style="list-style-type: none"> 地球の形と大きさについて理解する。 化学的区分と力学的区分による地球内部の構造を知る。 プレート境界の種類と代表的な地形について理解する。 プレートの運動をプルームの観点から理解する。 変成岩の種類と特徴を、形成される環境から理解する。 地震が発生するしくみをプレートの運動と関連付けて理解する。 地震波と揺れの特徴との関係を理解する。 火山噴火のしくみをマグマの観点から理解する。 火成岩の分類と特徴を、造岩鉱物の観点から理解する。 大気圏の層構造を気温変化と関連付けて理解する。 			ミニテスト	○		
					単元テスト	○	○		
					課題			○	
					実験レポート	○	○	○	
					リフレクションシート			○	
7 8 9	【2章 大気と海洋】 1節 大気と海洋 2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候	16	<ul style="list-style-type: none"> 地球大気の特徴を理解する。 地球の平均気温が決まる要因をエネルギーの出入りから理解する。 雲が形成されるしくみを水の状態変化と関連付けて理解する。 風の吹くしくみを、空気塊にはたらく力に基づいて理解する。 地球規模の大気循環について理解する。 海洋の鉛直構造について水温変化の観点から理解する。 地球規模の海洋の循環について理解する。 日本の季節ごとの天気の特徴を理解する。 			ミニテスト	○		
					単元テスト	○	○		
					課題			○	
					実験レポート	○	○	○	
					リフレクションシート			○	
10 11	【3章 宇宙、太陽系と地球の誕生】 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	14	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙の層構造について理解する。 宇宙の進化の過程を理解する。 恒星の明るさを表す方法について理解する。 恒星の一生を、内部で起こっている反応の観点から理解する。 太陽の表面構造と内部構造について理解する。 太陽のエネルギー源を反応の観点から理解する。 太陽系を構成する天体について理解する。 太陽系のそれぞれの惑星の特徴を理解する。 地球が生命を育むようになった条件について考える。 			ミニテスト	○		
					単元テスト	○	○		
					課題			○	
					実験レポート	○	○	○	
					リフレクションシート			○	
12 1	【4章 古生物の変遷と地球環境の変化】 1節 地層のつき方 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境	12	<ul style="list-style-type: none"> 砕屑粒子が形成されるしくみを理解する。 河川の3作用を知る。 河川によって形成される地形を理解する。 堆積岩をもとにした堆積物と関連付けて理解する。 地層の新旧判定を、観察結果に基づいて行えるようになる。 示準化石と示相化石の違いについて理解する。 古生物の変遷を地球環境と関連付けて理解する。 			ミニテスト	○		
					単元テスト	○	○		
					課題			○	
					実験レポート	○	○	○	
					リフレクションシート			○	
2 3	【5章 地球の環境】 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	10	<ul style="list-style-type: none"> 日本で起こっている災害の種類について知る。 日本で災害に対して行われている取り組みについて理解する。 日本の災害に対して、自分で行える防災・減災の取り組みを考える。 エルニーニョとラニーニャのしくみについて理解する。 地球環境の変化を人間活動と関連付けて理解する。 持続可能な未来の実現のために私たちができることを考える。 			ミニテスト	○		
					単元テスト	○	○		
					課題			○	
					リフレクションシート			○	
学習の アドバイス	<p>(1) 地学では、現象をイメージと結びつけながら理解することが大切ですので、授業には集中して臨んでください。</p> <p>(2) 授業の内容がわからないときは、早めに質問したり、友達と話し合ったりしながら解決しましょう。</p> <p>(3) サイエンスに特有の考え方を身に付ける必要があるため、予習よりも復習を大切に、毎時間授業後に復習するようにしてください。</p> <p>(4) 地学はサイエンスであり、身近な事象を取り扱っているため、常に「なぜだろう」と考えながら取り組む姿勢が大切です。</p>								